

あとがき

去る9月5日(日曜日),耳鼻咽喉科専門医認定試験でお馴染の霞が関ビルにおいて『第1回頭頸部がん専門医認定試験』が行われました。頭頸部がん専門医は日本頭頸部外科学会が母体となって2009(平成21)年4月に耳鼻咽喉科専門医初のサブスペシャルティーとして発足した制度です。記念すべき第1回は165名と多数の受験者を迎えることができました。頭頸部外科は、ともすれば『きつい、汚い、危険、厳しい、金にならない』の5K職場と称され、その存続が危惧されている職種ですが、多くの大学の耳鼻咽喉科で入局者が減少するなか、頭頸部がん専門医の発足に歩調を合せて日本頭頸部外科学会の会員数はここ数年で約400名増加しています。本制度の発足が頭頸部外科を目指す耳鼻咽喉科医の増加や頭頸部癌診療施設の集約化など、頭頸部がん診療の今後の発展につながることを期待しています。

さて、本号の特集は『表在癌の新しい対応』です。既に胃や食道では、上部消化管内視鏡を使った切除が早期癌に対する標準的な治療の一つとなっていますが、最近では、拡大内視鏡やNBIの登場により、中咽頭や下咽頭においてもきわめて早期の癌(表在癌)が発見されることが多くなってきました。特集では、こうした表在癌の取り扱いについて本邦の第一人者の先生方にご解説いただいています。Current Articleは曾根三千彦先生のMRIによる内耳障害の診断です。3T(テスラ)MRIの登場により、従来は聴神経腫瘍の鑑別が主目的であったMRIで、内耳の炎症性疾患の診断も可能となってきました。シリーズ『知っておきたい生理・病態の基礎』は米澤宏一郎先生・他の『咀嚼の生理と病態』です。ご存じのように本年4月の保険改正で内視鏡下嚥下機能検査が保険収載されました。これまで嚥下にご興味のなかった先生方にも、これを機会にぜひ嚥下障害に積極的に取り組んでいただきたいと思います。鏡下囁語は加我君孝先生による『齋藤茂吉先生の留学記』です。各医局とも医師不足や経済状況の悪化により、留学に出すのはなかなか難しくなりました。一方、企業でも同様とのことですが、最近の若者は内的で、留学や海外勤務の話をされても尻ごみする人が多いらしいですね。確かに留学には不安やプレッシャーがつきもので、決して楽しいことばかりではありませんが、他人の飯を食うことはきっと役に立つはずです。若い先生方には、折角チャンスを貰えたら、ぜひチャレンジして欲しいと思います。

(丹生健一)

編集顧問

大和田健次郎

佐々木 好 久

曾 田 豊 二

坂 井 真

竹 中 洋

八 木 聡 明

編集委員

吉 原 俊 雄

小 川 郁

丹 生 健 一

耳鼻咽喉科・頭頸部外科 (第82巻 第11号) 発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金原 優

2010年10月20日発行(毎月1回20日発行)

定価 2,730 円(本体 2,600 円+税 5%)

2010 年年ぎめ予約購読料 39,950 円
※電子ジャーナル閲覧オプション付 52,000 円
増刊号を含む13冊,税込,送料小社負担

・医学書院ホームページ(インターネット)は
Web <http://www.igaku-shoin.co.jp/>です。
・「耳鼻咽喉科・頭頸部外科」のページは
<http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/jikotokei/>です。

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23
電話 本誌編集室直通 (03) 3817-5710 (担当 西塚・安部)
販売部直通 (03) 3817-5659・5660
ファクシミリ (03) 3815-7802 (編集室)
E-mail: jikotokei@igaku-shoin.co.jp
振替口座 00170-9-96693 番
印 刷 所 三報社印刷(株) 電話 (03) 3637-0005
広告申込所 (有)文京メディカル 電話 (03) 3817-8036

・Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2010, Printed in Japan
・本誌に掲載された著作物の複写・複製・転載・翻訳・データベースへの取り込みおよび送信(送信可能化権を含む)に関する許諾権は医学書院が保有しています。
・ <創出版者著作権管理機構 委託出版物>
・本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に、(創出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp))の許諾を得てください。